

次期総合計画 策定方針

－ 2050 年に向け、市民主体のまちづくり文化を育む種を蒔こう！！－

■基本方針

本市では、今後もしばらくは人口が増加しますが、いずれは人口減少に転じると予想されており、次期総合計画では、そのための準備として、行政だけでなく市民を中心とした各主体が役割分担をし、まちづくりを担うことが求められています。

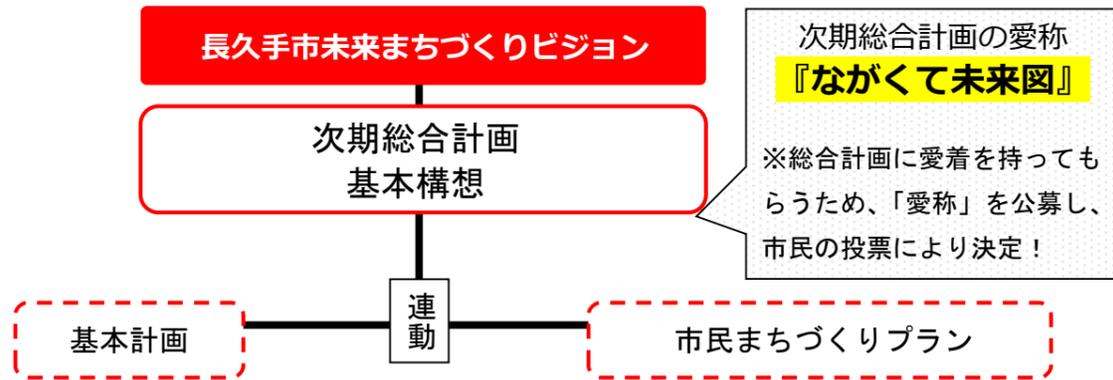
また、同時に、しばらく続く人口増加への対応として、子育て支援等の施策のほか、次代を担う若者が積極的にまちづくりに参画する仕組みが必要となります。

次期総合計画では、2050 年には、子どもからお年寄りまでみんながまちづくりに関わることが「当たり前」となって「文化」として根付くよう、そのファーストステップとして、多くの市民にまちでの役割を担ってもらう（＝種を蒔く）ことを目指します。

■計画策定過程で目指す3つのこと

多くの市民が策定に関わること | 「まちづくり」を「我が事」と捉える市民を増やすこと | 市民同士のつながりが生まれ、計画実行を担う市民を育てること

■計画の構成

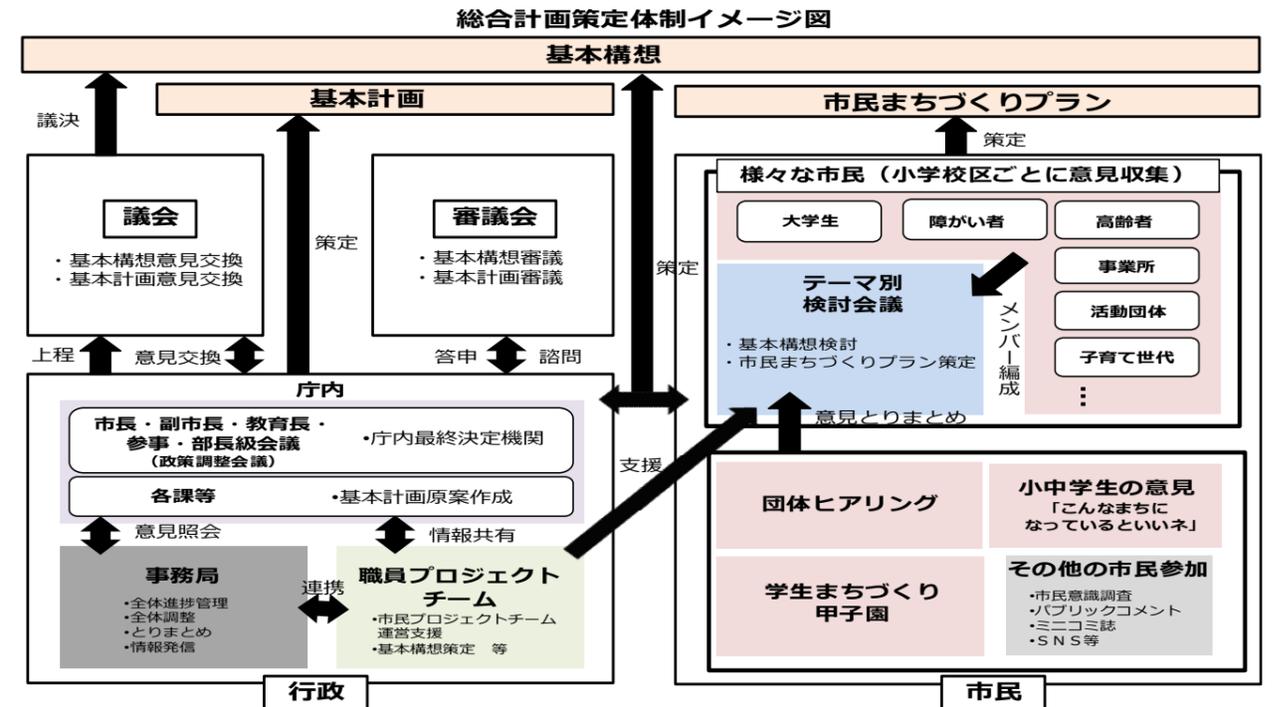


- **基本構想**
本市が目指す将来像とその実現のための方針をまとめたもの
期間：平成31年度～平成40年度（10年間）
- **基本計画**
基本構想の実現のため、行政が実施する内容をまとめたもの
期間：平成31年度～平成35年度（5年間）
- **市民まちづくりプラン**
基本構想の実現のため、市民が実施する内容をまとめたもの
期間：平成31年度～（基本構想の範囲内で、市民と一緒に検討）

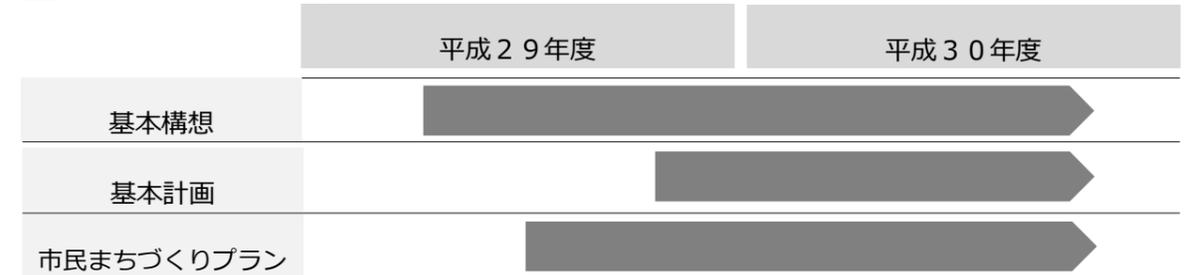
■策定期限

平成30年度中に策定
※基本構想については、平成30年12月議会で議決予定

■策定体制イメージ図



■全体スケジュール



■平成29年度の市民参画の流れ

